

平成 29 年度 市政世論調査

報告書 概要版

この報告書概要版は、平成 29 年 6 月 23 日～7 月 7 日にかけて実施した「平成 29 年度市政世論調査」の主な結果をまとめたものです。

< 目次 >

I. 調査の概要	1
II. 調査回答者の属性	2
III. 調査結果	4
1. 暮らしや居留意向について	4
2. 人権全般に関する意識について	5
3. ごみの分別・減量について	6
4. 景観（風景）について	7
5. 多文化共生のまちづくりについて	8
6. 男女共同参画について	9
7. 市内の公共交通について	11
8. 公共施設等のあり方について	12
9. 自治基本条例について	13
10. 医療費適正化（医療費通知）について	14
11. 市民農園について	15
12. 自殺防止について	16
13. 越谷市への愛着度について	17
14. 越谷市フィルムコミッション事業について	18
15. 越谷市の商店街について	19
16. 地域福祉（地域で支え合うしくみづくり）について	21
17. 老人福祉センターについて	22
18. 広報について	23
19. 越谷市の施策について	24

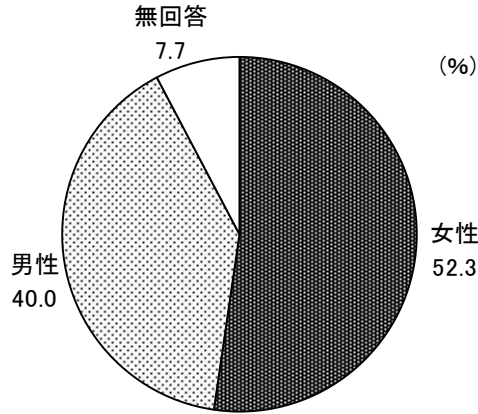
I. 調査の概要

- ◆ 調査地域 : 越谷市全域
- ◆ 調査対象 : 市内在住の 18 歳以上の男女 5,000 人
- ◆ 抽出方法 : 住民基本台帳より無作為抽出
- ◆ 調査方法 : 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- ◆ 調査期間 : 平成 29 年 6 月 23 日～平成 29 年 7 月 7 日
- ◆ 回収結果 : 有効回収数 2,492 人 回収率 49.84%

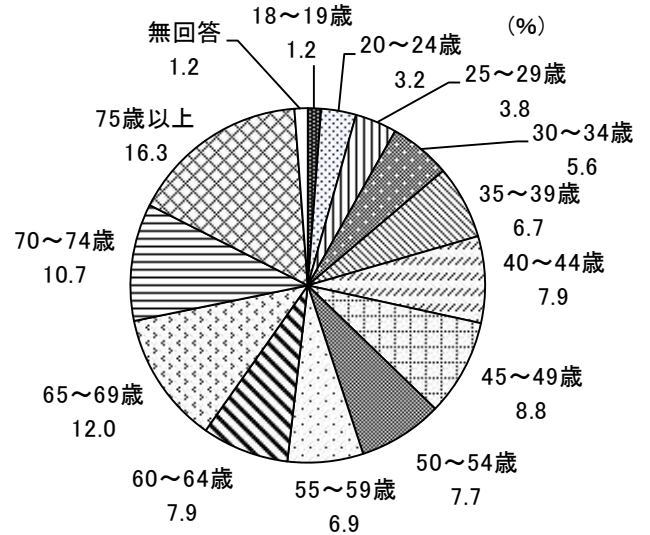
II. 調査回答者の属性

回答者の属性は以下の通りである。

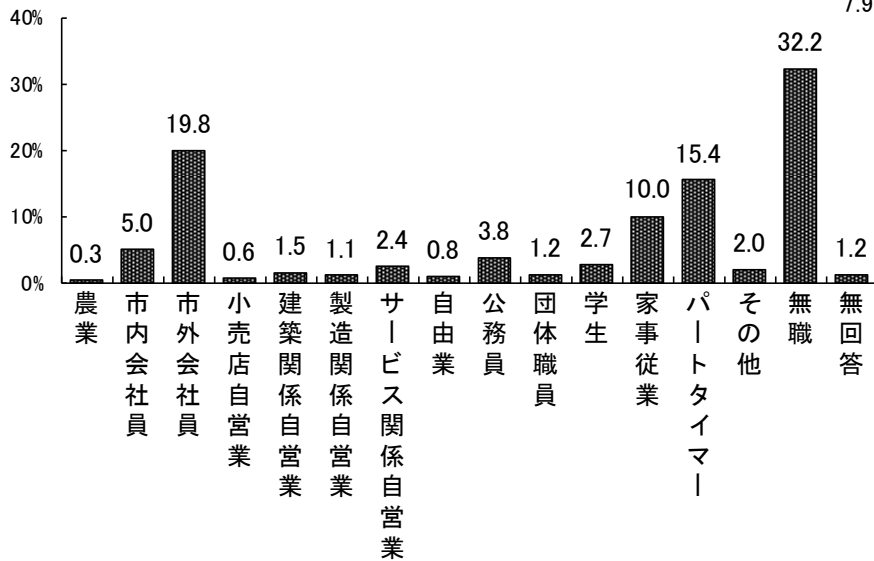
◆性別 (n=2,492)



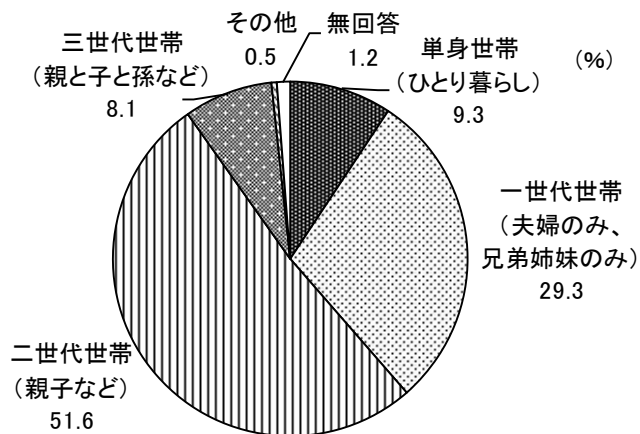
◆年代 (n=2,492)



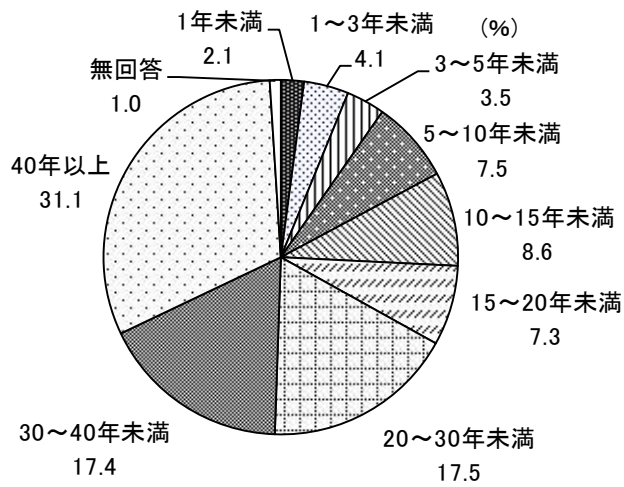
◆職業 (n=2,492)



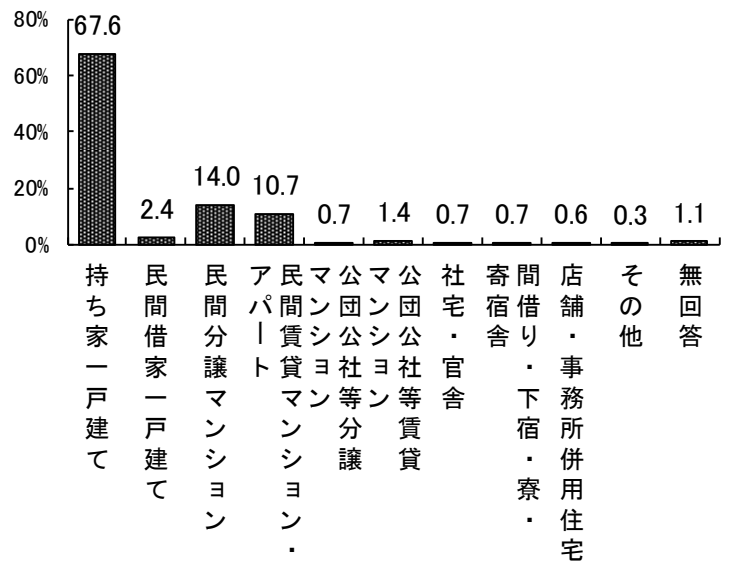
◆世帯の状況 (n=2,492)



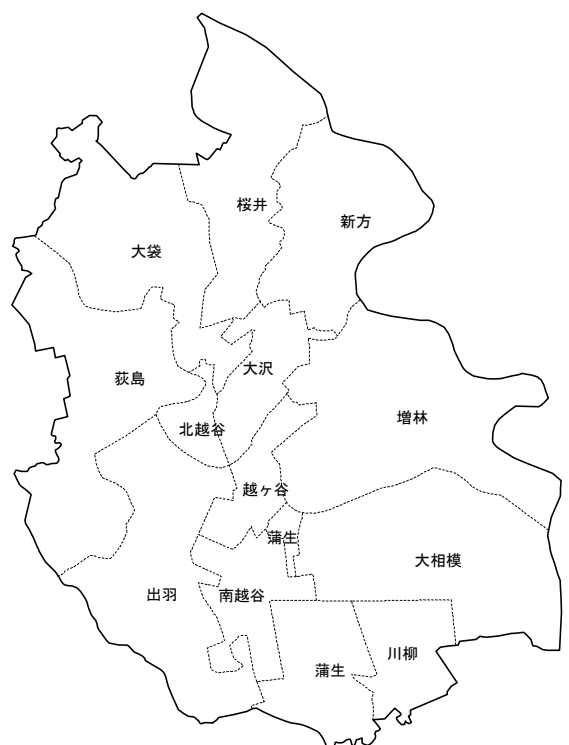
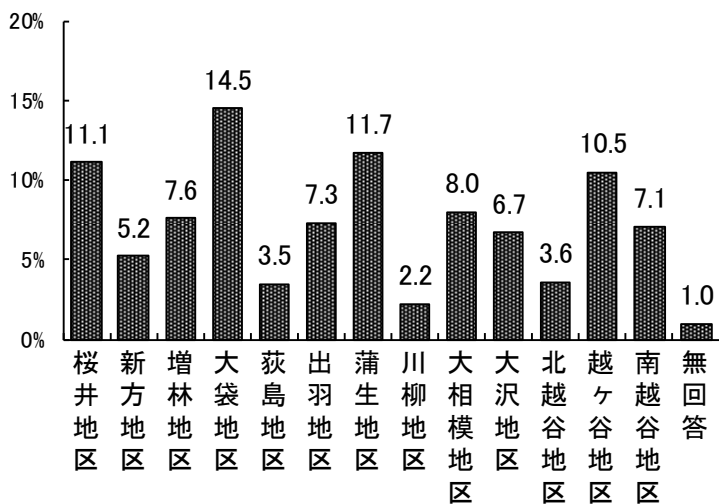
◆居住年数 (n=2,492)



◆居住形態 (n=2,492)



◆居住地区 (n=2,492)



Ⅲ. 調査結果

1. 暮らしや居住意向について

- 現在の暮らし向きについて『満足』（「十分満足している」+「十分とはいえないが、一応満足している」）が5割強。
- 『定住意向』（「ずっと住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」）は7割強。
- 『転居意向』（「どちらかといえば引っ越したい」+「引っ越したい」）の主な理由は、「賃貸住宅に住んでおり、持ち家がほしいため」が1割強で最も多い。

図 1-1 現在の暮らし向き (n=2,492)

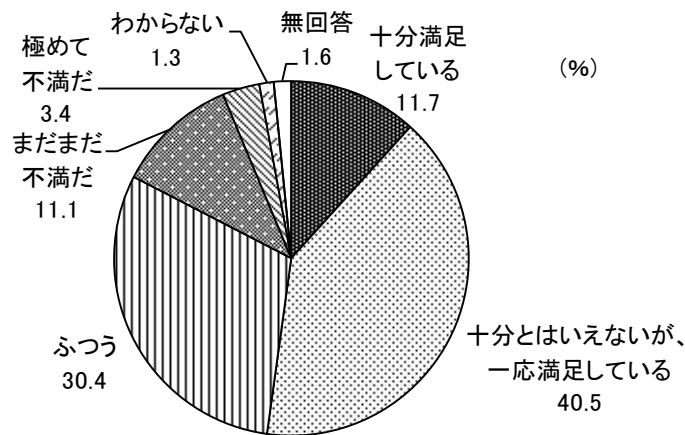


図 1-2 居住意向 (n=2,492)

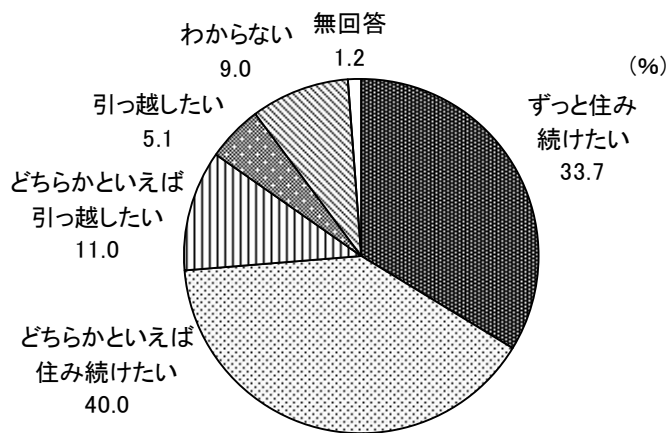
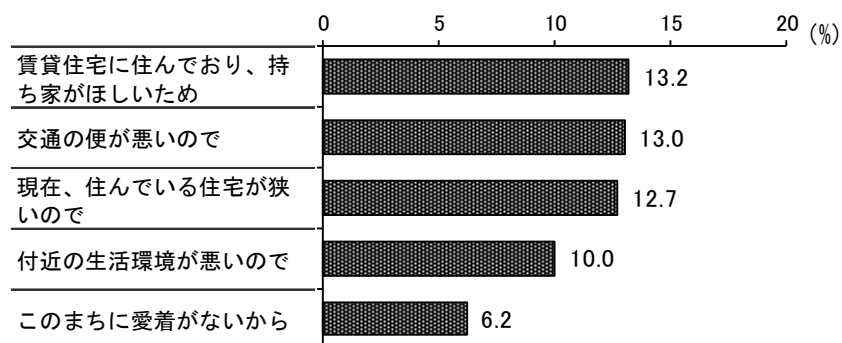


図 1-3 転居意向の理由 (上位 5 位) (n=401)



2. 人権全般に関する意識について

- 今の日本社会における基本的人権の意識は『尊重されている』（「十分尊重されている」＋「やや尊重されている」）が6割半ば。
- 10年前と比べた人権意識の変化は「変わっていない」が4割強だが、『高くなっている』（「非常に高くなっている」＋「やや高くなっている」）も約4割。
- 関心のある人権問題は「高齢者の人権問題」が4割強で最も多い。
- 日常生活の中で人権が侵害されたと感じたことがあるかは「ある」が約2割。
- 人権侵害を感じた内容は「あらぬ噂を立てられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が5割弱で最も多い。

図 2-1 基本的人権の意識 (n=2, 492)

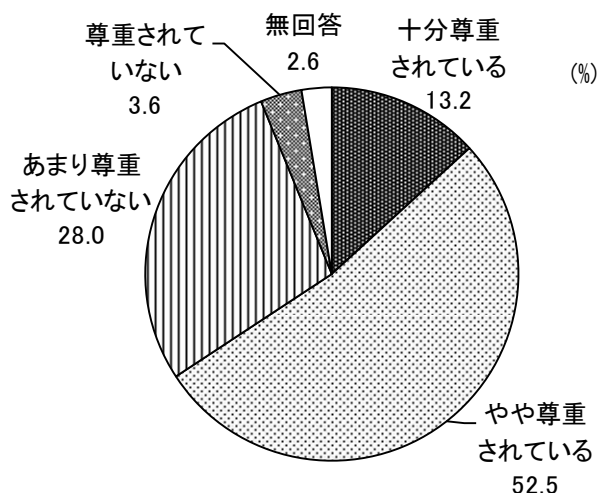


図 2-2 人権意識の変化 (n=2, 492)

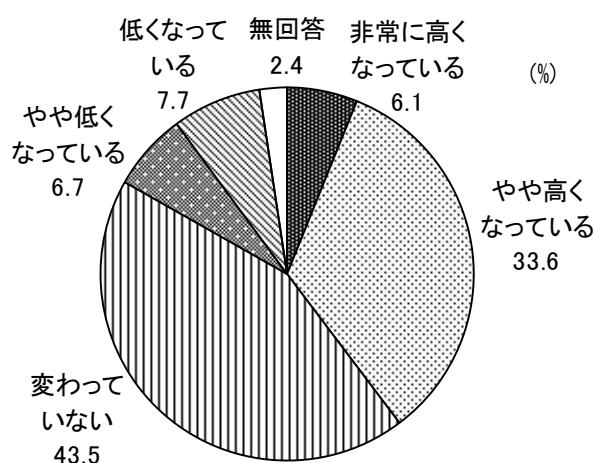


図 2-3 関心のある人権問題 (上位 5 位) (n=2, 492)

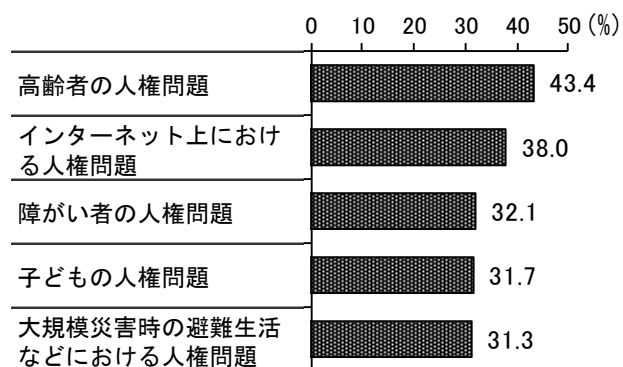


図 2-4 人権侵害を感じたこと (n=2, 492)

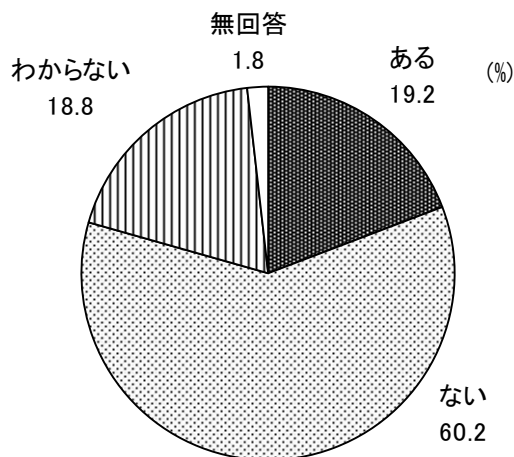
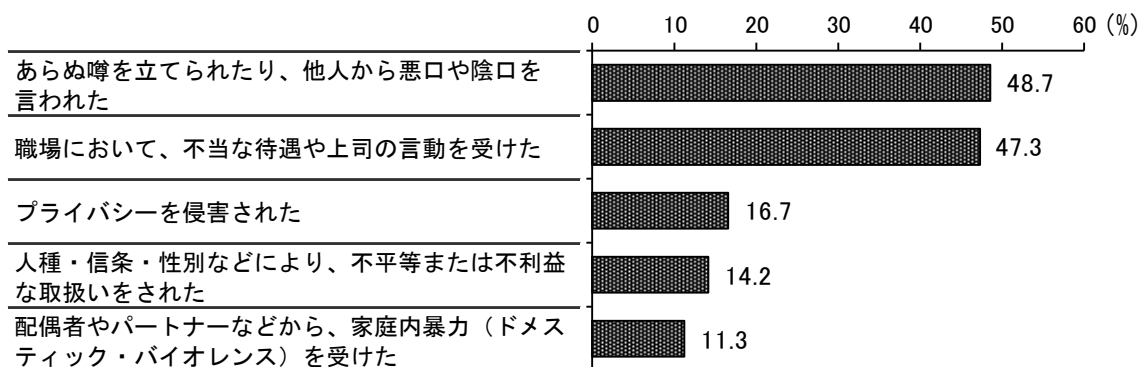


図 2-5 人権侵害を感じた内容 (上位 5 位) (n=478)



3. ごみの分別・減量について

- ごみの分別区分は「ちょうど良い」が9割弱。
- ごみを出す時に困ったことは「ごみをカラスに荒らされるので困っている」が約4割で最も多い。
- 高齢者のごみの出し方は「今までどおりステーション方式でよい」が4割半ばで最も多い。
- ごみの減量及びリサイクルのためにしていることは「古紙類や空き缶などを資源回収に出している」が7割強で最も多い。

図 3-1 ごみの分別区分 (n=2,492)

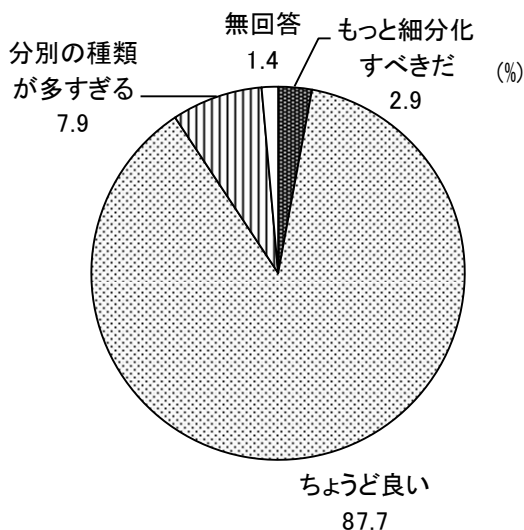


図 3-2 ごみを出す時に困ったこと (上位 5 位) (n=2,492)

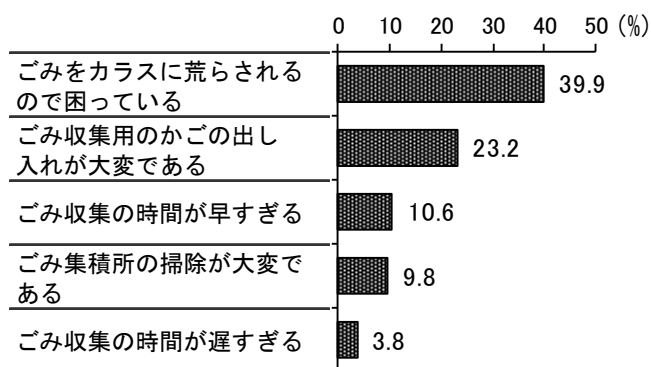


図 3-3 高齢者のごみの出し方 (上位 5 位) (n=2,492)

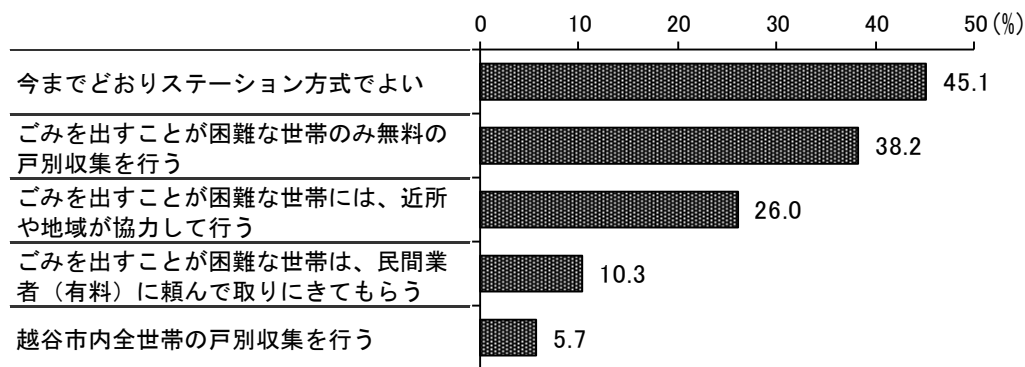
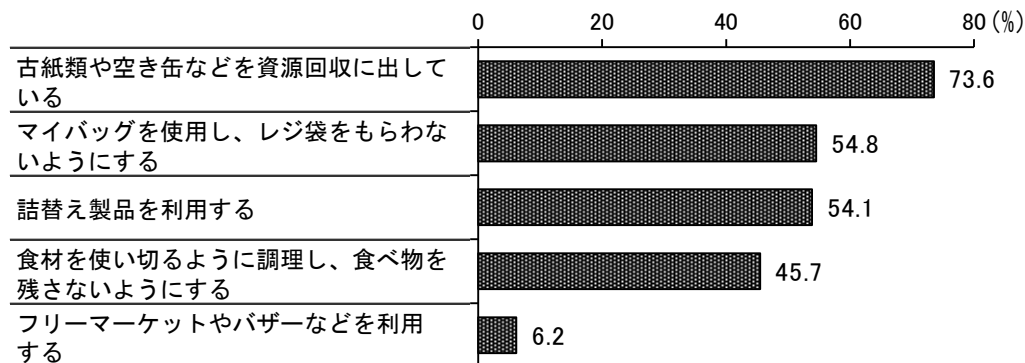


図 3-4 ごみの減量及びリサイクルのためにしていること (上位 5 位) (n=2,492)



4. 景観（風景）について

- 住まいの地区の景観（風景）の満足度は『満足』（「満足している」+「十分とはいえないが、概ね満足している」）が7割弱。
- 良い景観（風景）のまちをつくるために行政に望むものは「良好な景観づくりに役立つ公共事業」が4割強で最も多い。

図 4-1 景観（風景）の満足度 (n=2,492)

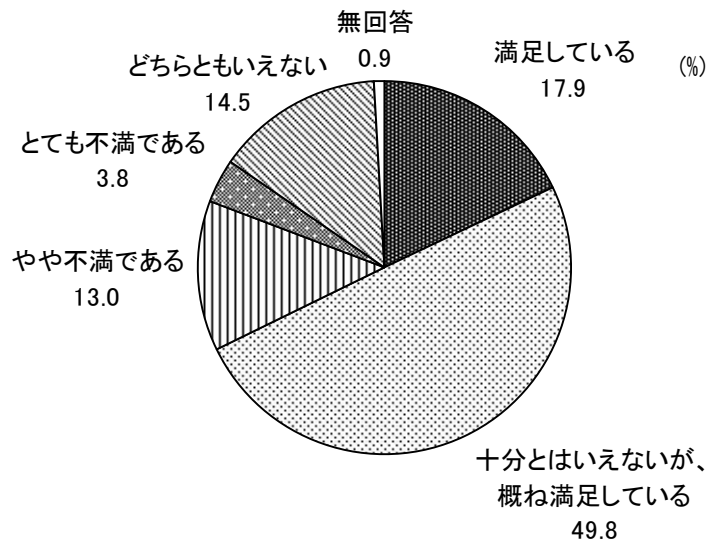
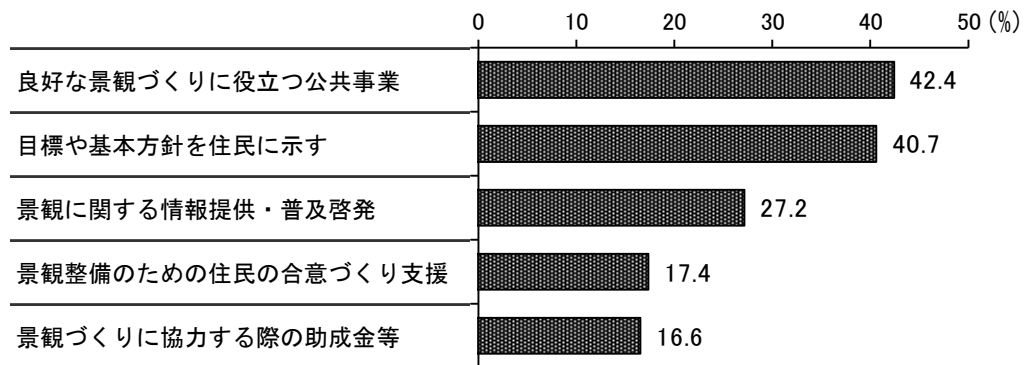


図 4-2 行政に望むこと（上位5位） (n=2,492)



5. 多文化共生のまちづくりについて

- 近くに住む外国人市民とのつき合いは「近くに住んでいない、または近くに住んでいるかどうか分からない」が約7割、『つきあいがある』（「親しくつきあっている」+「あいさつをする程度のつきあいがある」）は1割半ば。
- 近くに住む外国人市民との関係で困った経験は「特になし」が7割半ばで最も多い。
- 「多文化共生」という言葉の認知度は『聞いたことがある』（「聞いたことがあり、意味も理解している」+「聞いたことはあるが、意味はよく知らない」）が約6割。
- 「多文化共生のまち」づくりに市が力を入れることは「外国人市民に対して、日本の文化や生活情報を多様な言語で知らせる」が5割半ばで最も多い。

図 5-1 外国人市民とのつき合い (n=2,492)

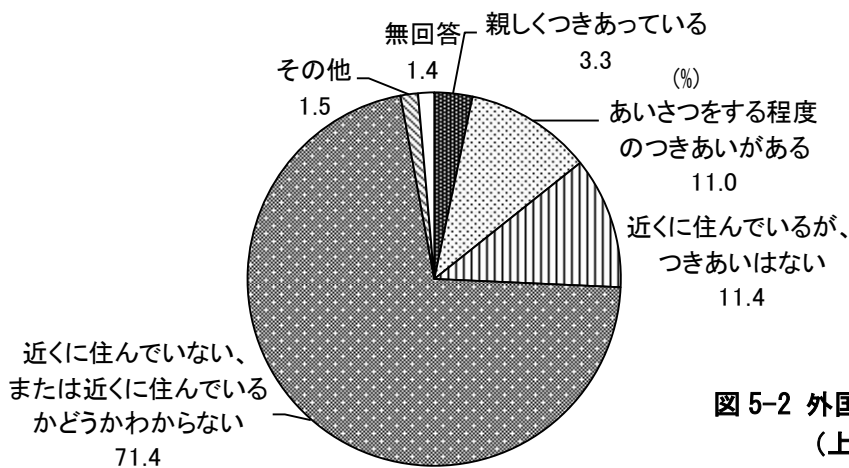


図 5-2 外国人市民との関係で困った経験 (上位4位+特になし) (n=2,492)

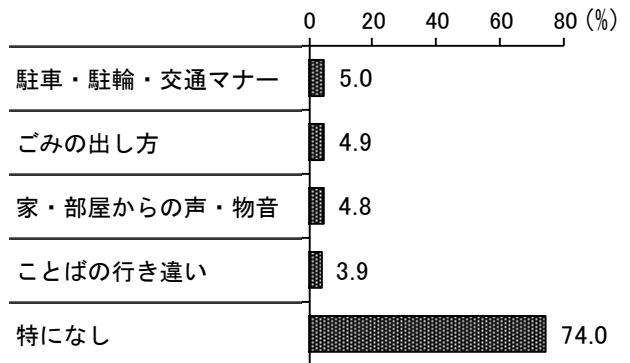


図 5-3 「多文化共生」という言葉の認知度 (n=2,492)

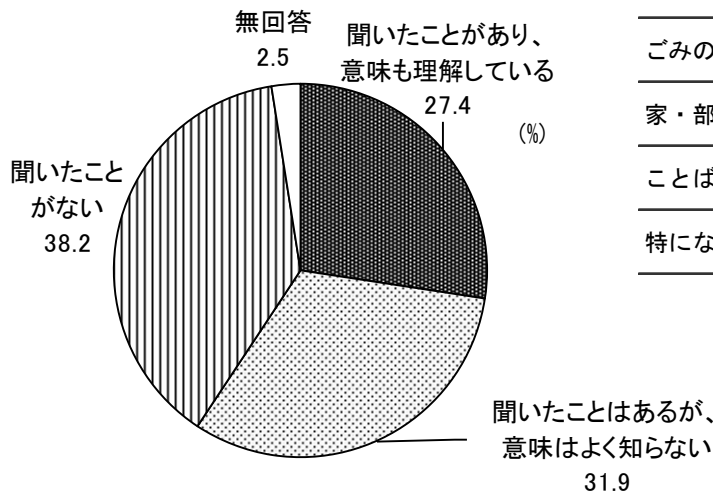
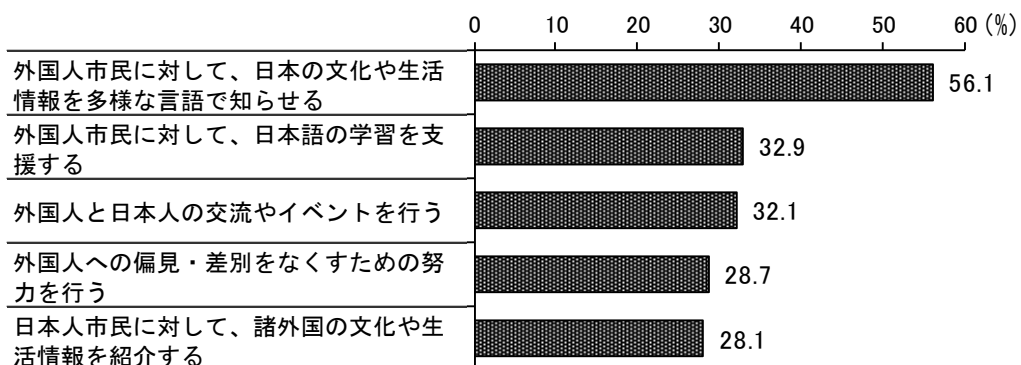


図 5-4 「多文化共生のまち」づくりに市が力を入れること (上位5位) (n=2,492)



6. 男女共同参画について

- 1日の生活で希望どおりの時間配分ができているかは『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が6割弱。
- 配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）の有無は『身体に対する暴力を受けた』が1割強、『恐怖を感じるような脅迫を受けた』が約1割、『精神的な嫌がらせを受けた』が1割半ば、『性的な行為を強要された』が約5％。
- 配偶者等からの暴力を受けたときの相談の有無は『相談しなかった』（「相談できなかった」＋「相談しようとは思わなかった」）が6割。
- 配偶者等からの暴力を受けたとき相談した人（場所）は「家族・親せき」が6割弱。
- 配偶者等からの暴力を受けたとき相談しなかった理由は「相談するほどのことではないと思ったから」が5割半ばで最も多い。

図 6-1 1日の生活で希望どおりの時間配分ができているか (n=2,492)

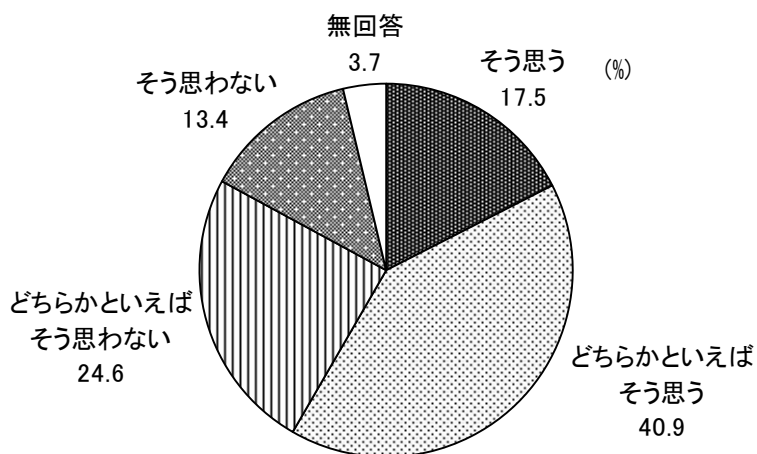


図 6-2 配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）の有無 (n=2,492)

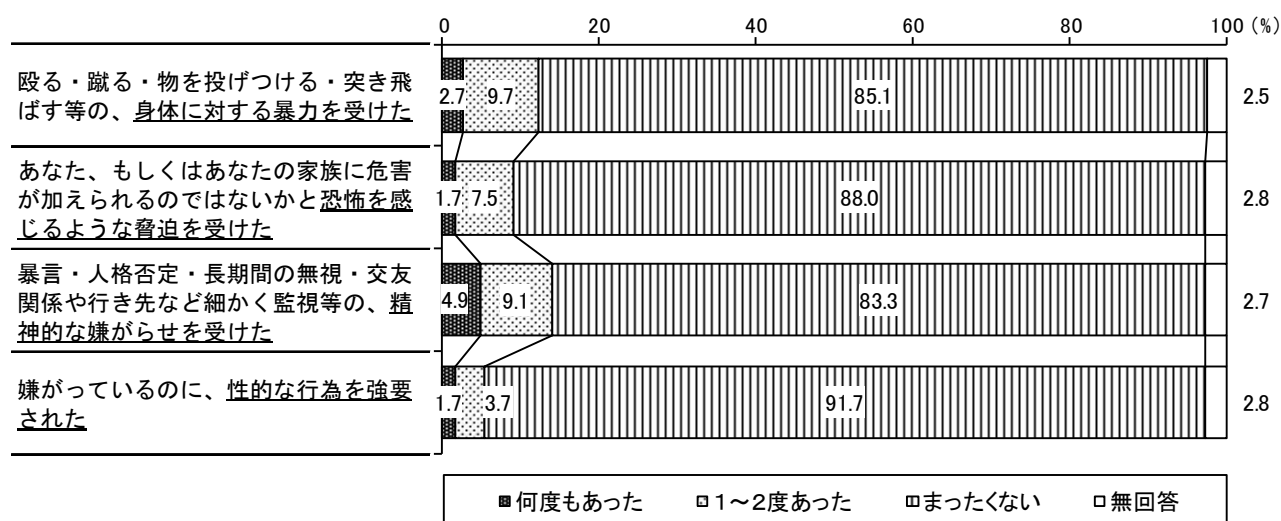


図 6-3 配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）を受けたときの相談の有無（n=551）

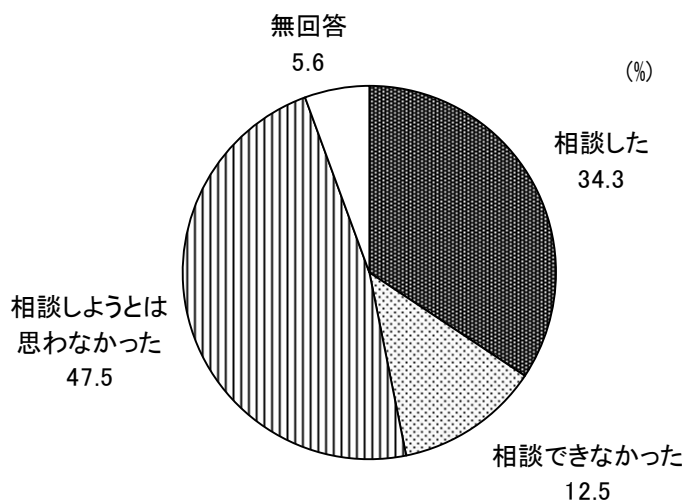


図 6-4 相談した人（場所）（上位 5 位）（n=189）

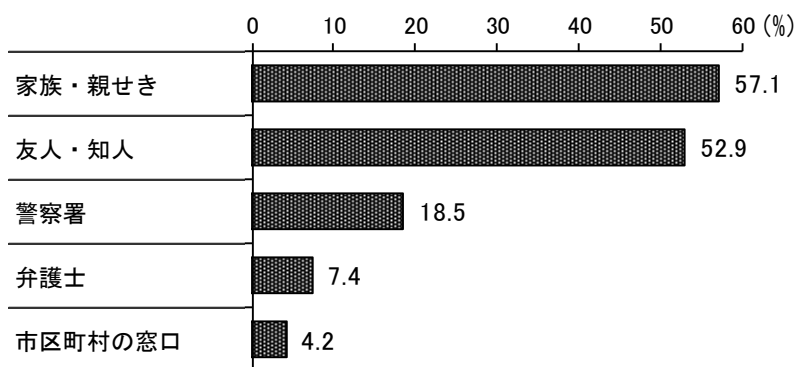
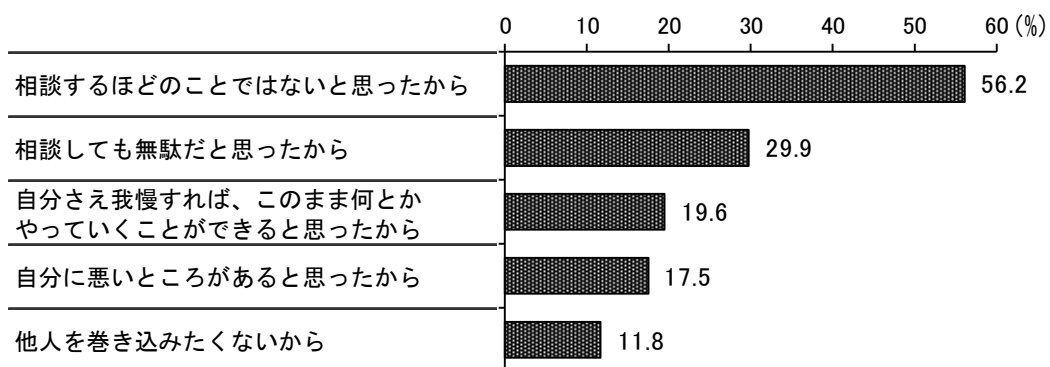


図 6-5 相談しなかった理由（上位 5 位）（n=331）



7. 市内の公共交通について

- 公共交通の利用有無について、鉄道は「常に利用」が3割弱、バスは「たまに利用」が3割強、タクシーは「たまに利用」が約4割。
- 公共交通の満足度で、『満足』（「とても満足している」+「やや満足している」）は鉄道が約8割、バスが5割半ば、タクシーが約6割。

図 7-1 公共交通の利用有無 (n=2,492)

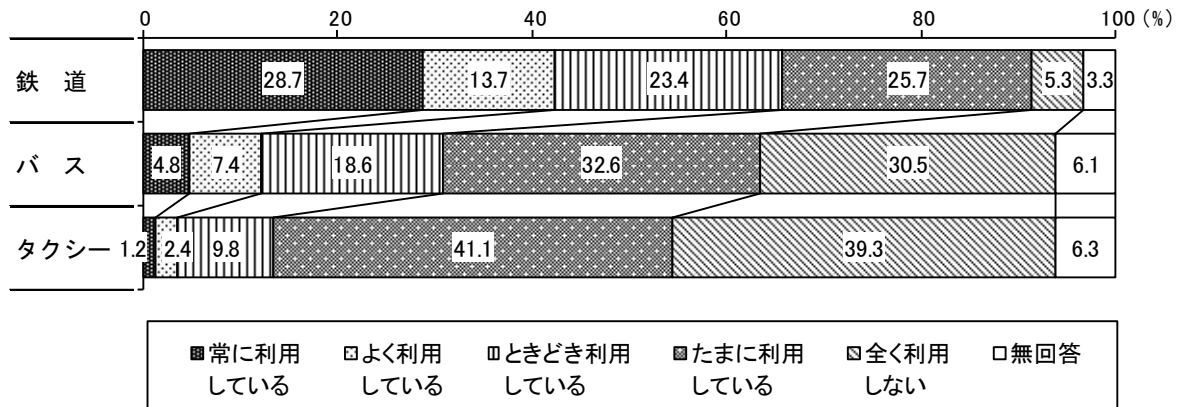
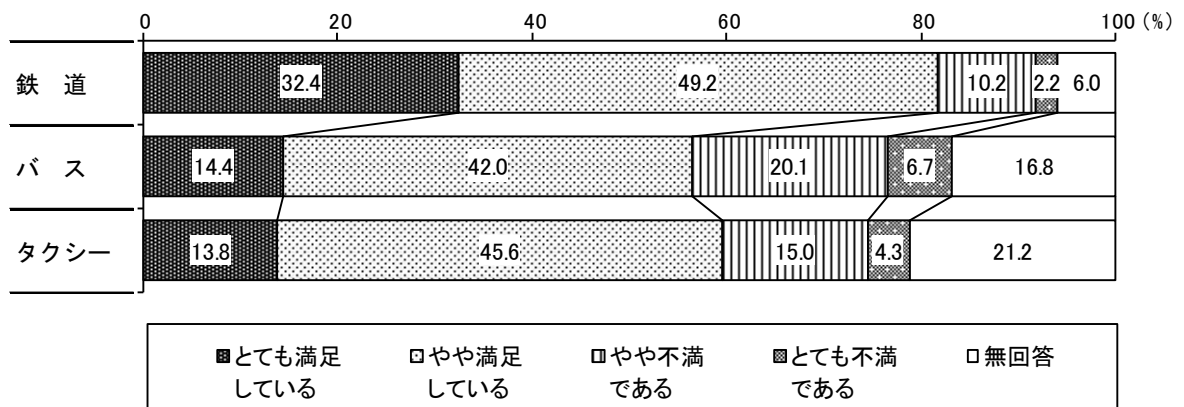


図 7-2 公共交通の満足度 (n=2,492)



8. 公共施設等のあり方について

- 「越谷市公共施設等総合管理計画」の認知度は「知らない」が7割半ば。
- 「越谷市公共施設等総合管理計画」（今後の人口減少や市の財政状況等を踏まえ、今後40年間で公共施設の面積を22%減らし、安全性に問題がないと判断された建物については80年を目標として既存の施設を有効活用する）についての考えは『そうすべきと思う』（「そうすべきと思う」+「どちらかといえばそうすべきと思う」）が約6割。
- 「越谷市公共施設等総合管理計画」について『そうすべきとは思わない』理由は「維持費がかからないよう工夫すればいいと思うから」が約4割で最も多い。

図 8-1 「越谷市公共施設等総合管理計画」の認知度 (n=2,492)

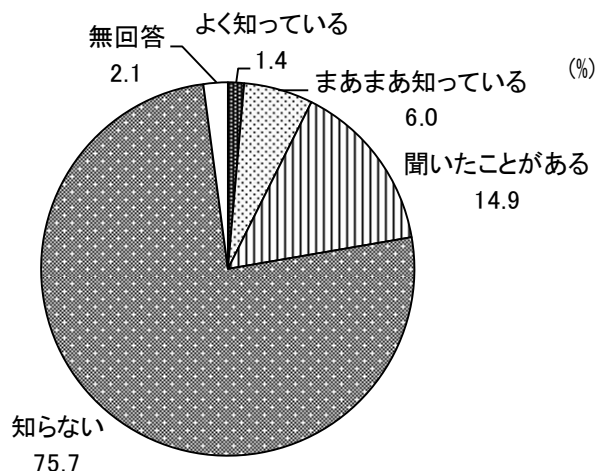


図 8-2 「越谷市公共施設等総合管理計画」についての考え (n=2,492)

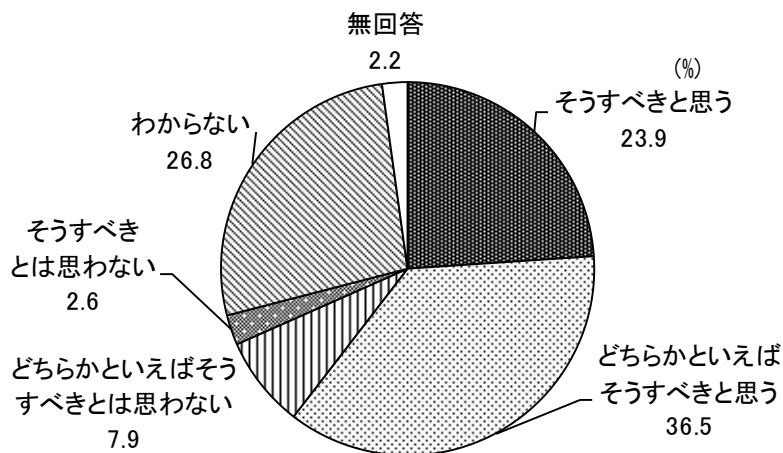
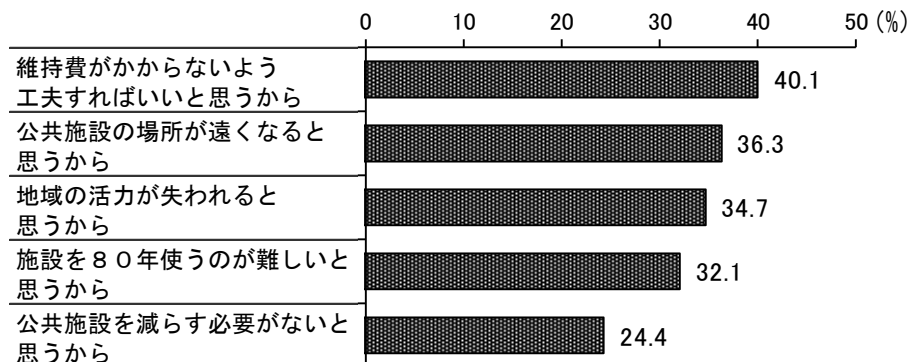


図 8-3 「越谷市公共施設等総合管理計画」にそうすべきと思わない理由 (上位5位) (n=262)



9. 自治基本条例について

- 「越谷市自治基本条例」の認知度は『知っている』（「よく知っている」+「まあまあ知っている」）が約1割。
- 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけは「広報こしがや」が8割強で最も多い。
- 市政への関心度は『関心がある』（「とても関心がある」+「まあまあ関心がある」）が約5割。
- 市政に関心を持ってもらうために必要なものは「市政に関する情報をわかりやすく公開する」が約6割で最も多い。

図 9-1 「越谷市自治基本条例」の認知度
(n=2,492)

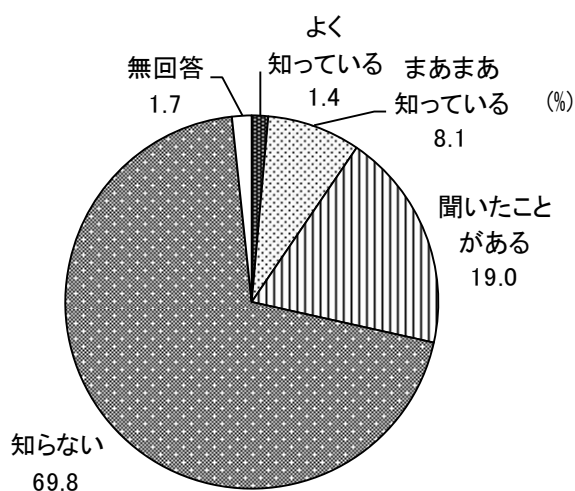


図 9-2 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけ
(上位 5 位) (n=710)

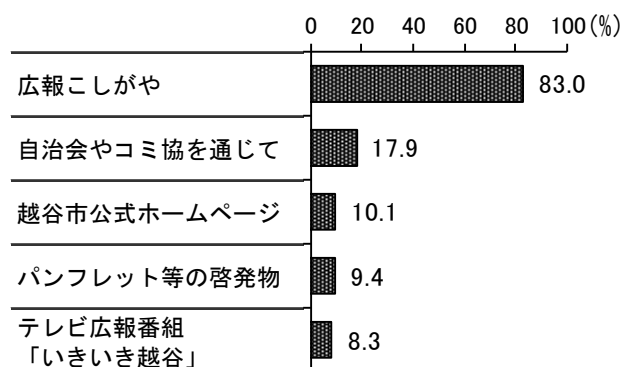


図 9-3 市政への関心度 (n=2,492)

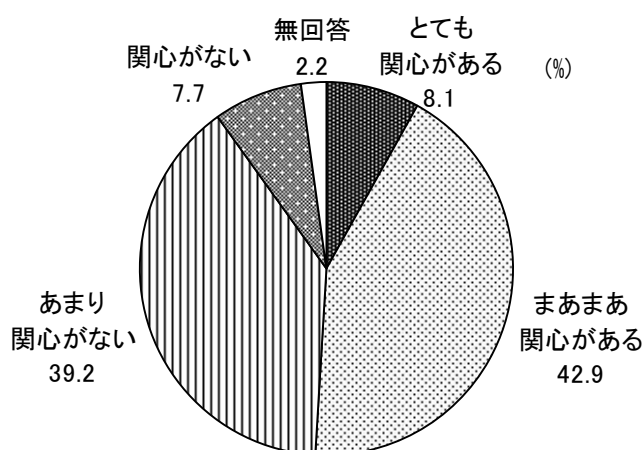
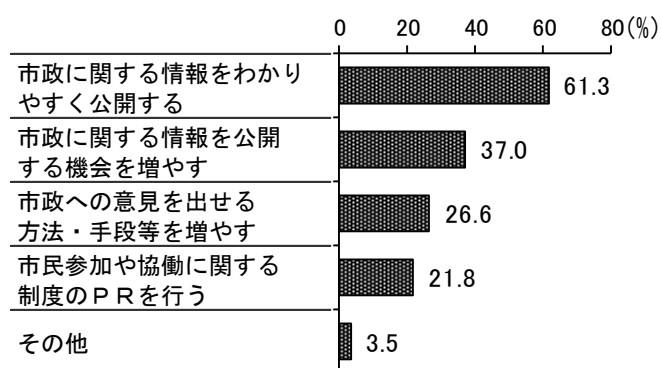


図 9-4 市政に関心を持ってもらうために必要なもの
(n=2,492)



10. 医療費適正化（医療費通知）について

- 加入保険は「被用者保険」が4割弱で最も多い。
- 医療費通知の内容は「確認している」が7割強。
- 医療費通知を受け取ったことで「健康な身体づくりを意識しようと思う」「医療機関への適正な受診を心がけようと思う」が7割弱。

図 10-1 加入保険 (n=2,492)

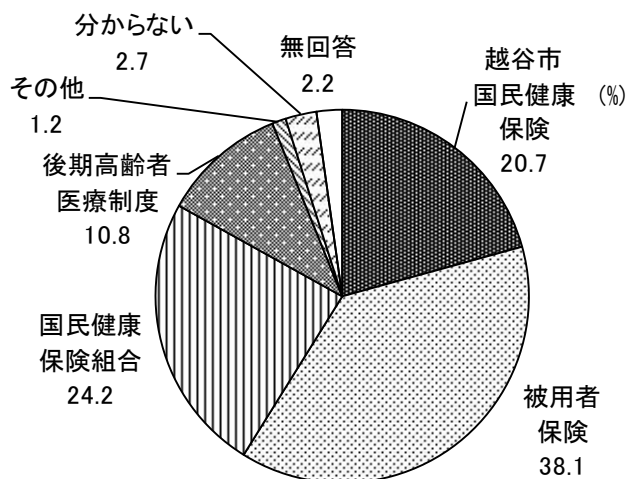


図 10-2 医療費通知の確認 (n=2,492)

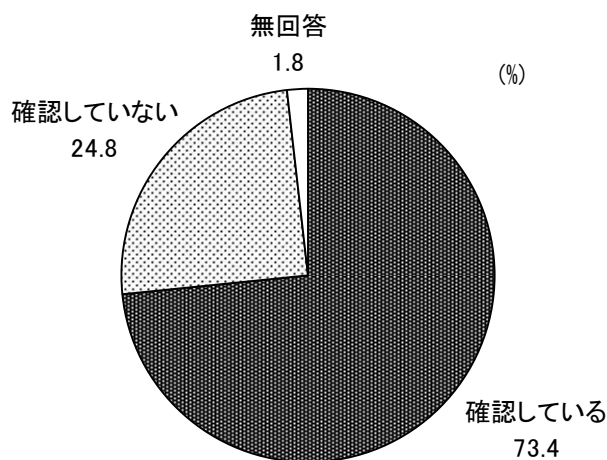
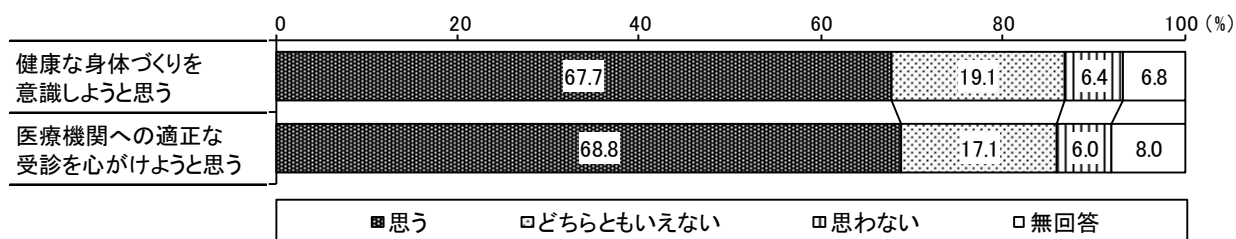


図 10-3 医療費通知を受け取って思うこと (n=1,828)



1.1. 市民農園について

- 「市民農園」での野菜づくりの意向の有無は、畑を借りて野菜づくりをしたいと「思う」が約2割。
- 「市民農園」を利用するうえで重視する点は「場所」が8割弱で最も多い。
- 「市民農園」に求める設備やサービスは「水道施設」が7割半ばで最も多い。
- 「市民農園」を利用したいと思う利用料金は「年間10,000円～20,000円未満」が8割強。

図 11-1 「市民農園」での野菜づくり意向の有無 (n=2,492)

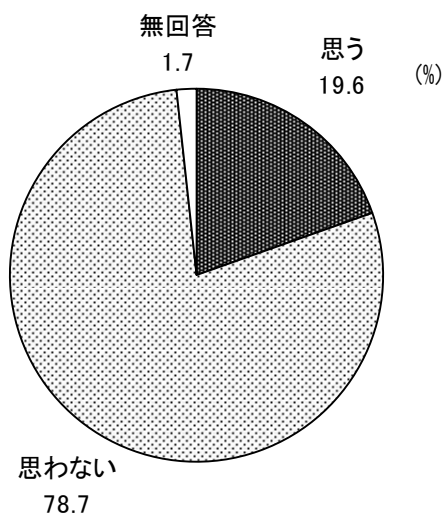


図 11-2 「市民農園」を利用するうえで重視する点 (n=489)

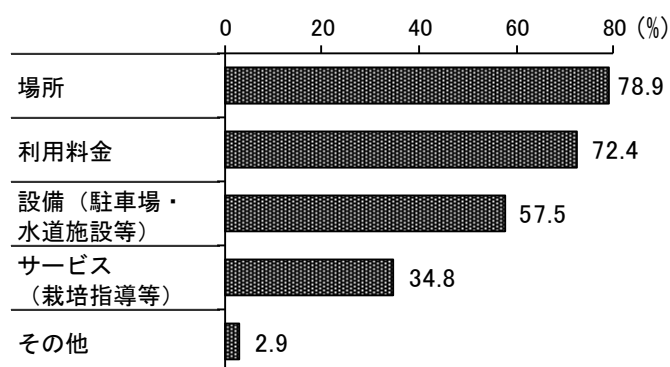


図 11-3 「市民農園」に求める設備やサービス (上位5位) (n=489)

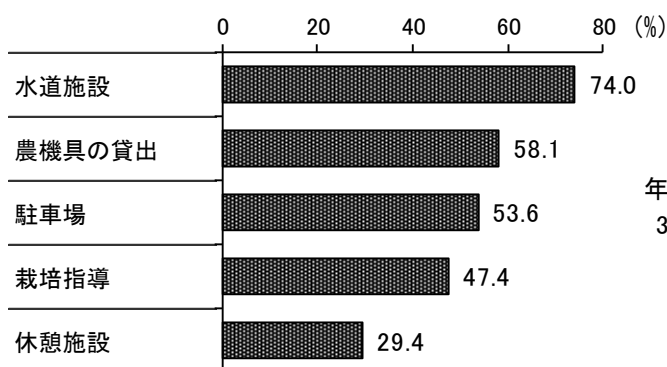
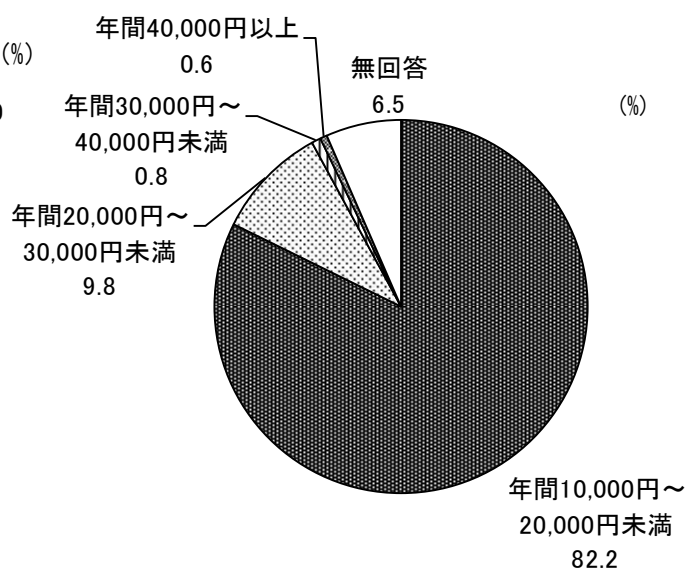


図 11-4 「市民農園」を利用したいと思う利用料金 (n=489)



12. 自殺防止について

- 今までに死にたいと思ったことがあるかは「はい（ある）」が約2割。
- 死にたいと思った理由は「家庭問題」が3割強で最も多い。
- 「死にたい」と思うくらい悩んだとき、だれに相談するかは「誰にも相談しないと思う」が約3割で最も多い。
- 市の自殺防止対策の相談窓口の認知度は「はい（知っている）」が約2割。
- 自殺防止に最も効果的な対策は「健康や病気に関する相談」が2割半ばで最も多い。

図 12-1 死にたいと思ったこと (n=2,492)

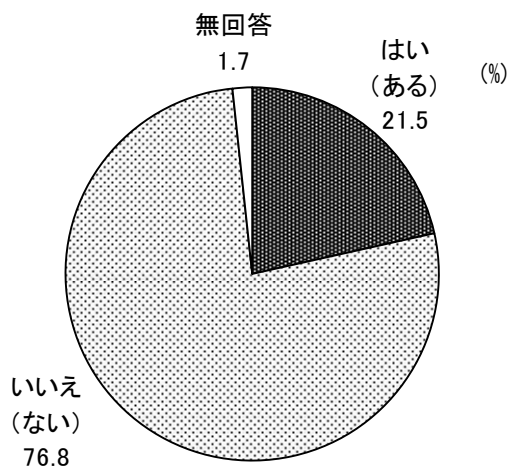


図 12-2 死にたいと思った理由 (上位 5 位) (n=535)

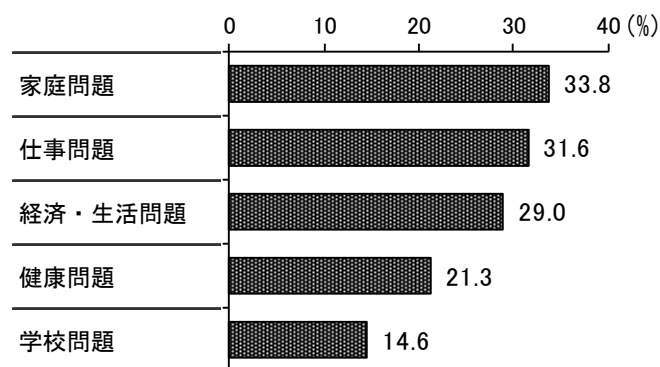


図 12-3 相談する人 (上位 4 位+誰にも相談しないと思う) (n=2,492)

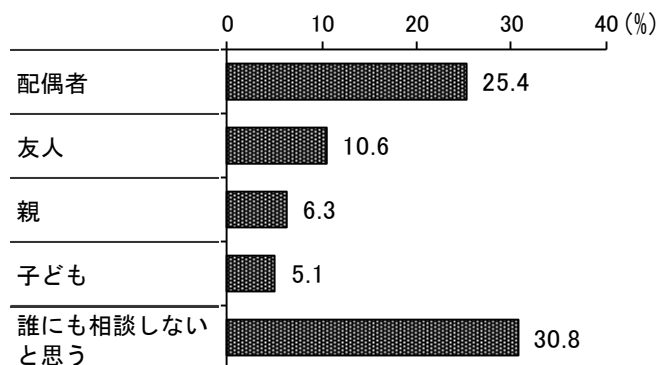


図 12-4 自殺防止対策の相談窓口の認知度 (n=2,492)

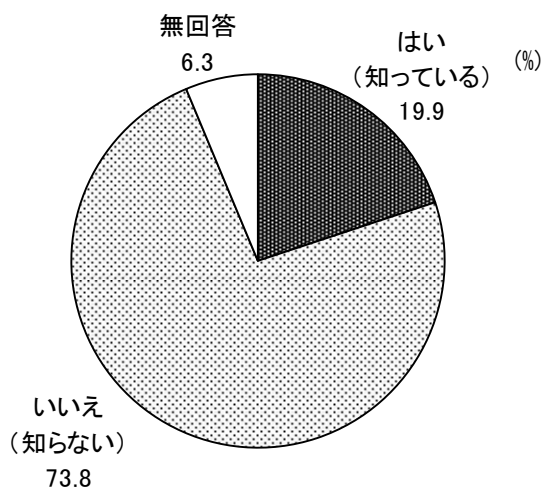
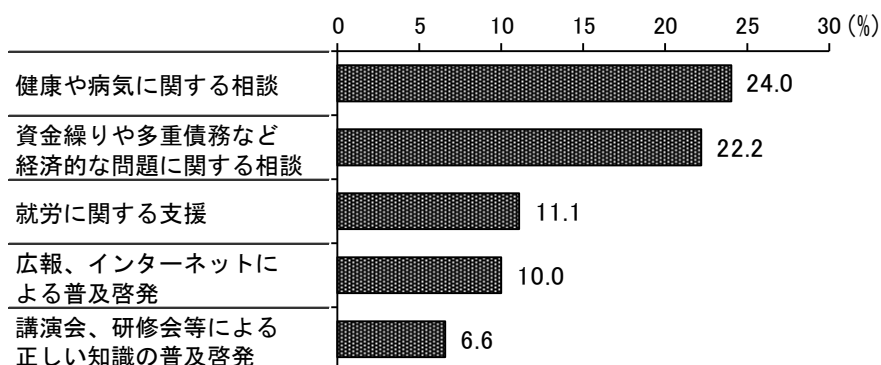


図 12-5 効果的な自殺防止対策 (上位 5 位) (n=2,492)



13. 越谷市への愛着度について

- 越谷市への愛着は『愛着がある』（「とても愛着がある」+「愛着がある」+「やや愛着がある」）が7割強。
- 愛着がある理由は「交通の利便性がよく、都内等に近い」が約7割で最も多い。
- 越谷市の誇れるものは「イオンレイクタウン」が約6割で最も多い。

図 13-1 越谷市への愛着 (n=2,492)

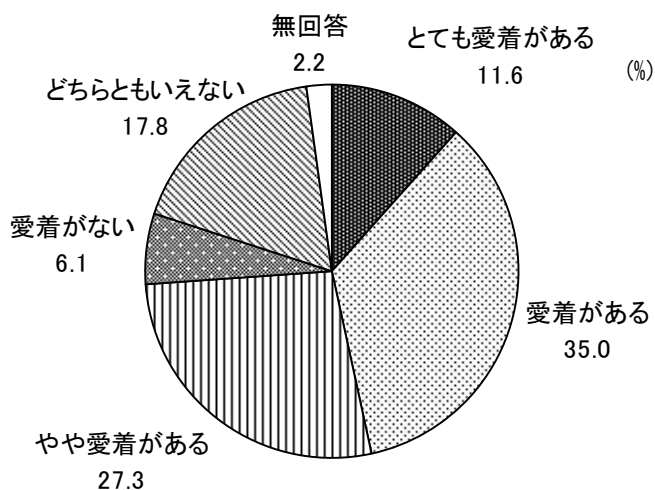


図 13-2 愛着がある理由 (上位 5 位) (n=1,843)

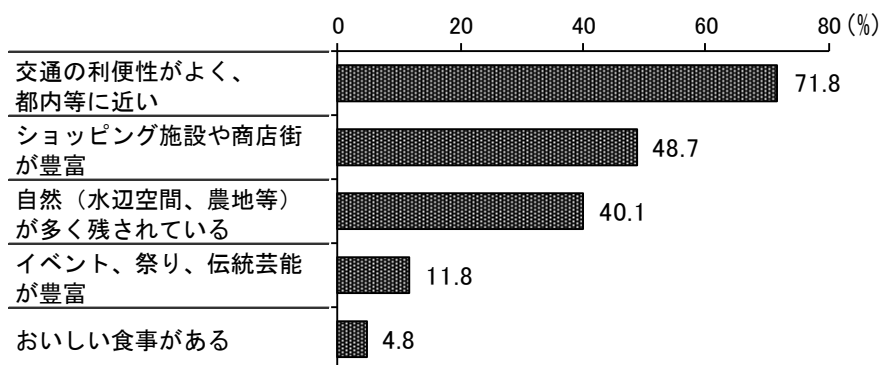
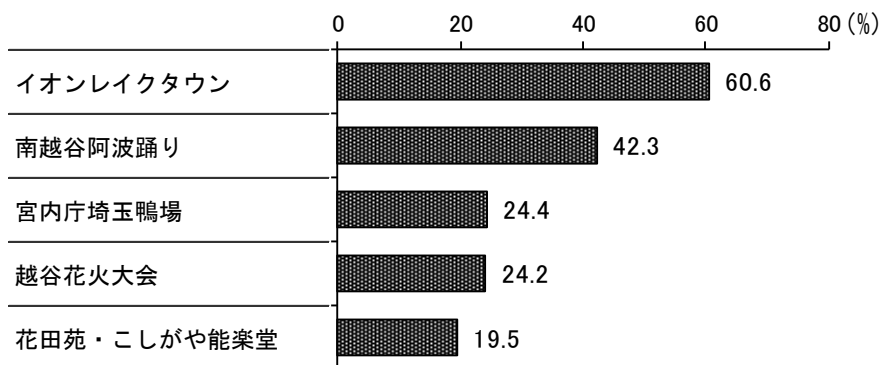


図 13-3 越谷市の誇れるもの (上位 5 位) (n=2,492)



14. 越谷市フィルムコミッション事業について

- フィルムコミッション事業が地域活性化に貢献すると思うかは『思う』（「思う」＋「少し思う」）が6割強。
- 貢献を期待する内容は「市の知名度向上」が7割半ばで最も多い。
- 貢献すると思う撮影場所は「商業施設（商店街・イオンレイクタウン・越谷ツインシティなど）」が6割半ばで最も多い。

図 14-1 フィルムコミッション事業が地域活性化に貢献するか (n=2,492)

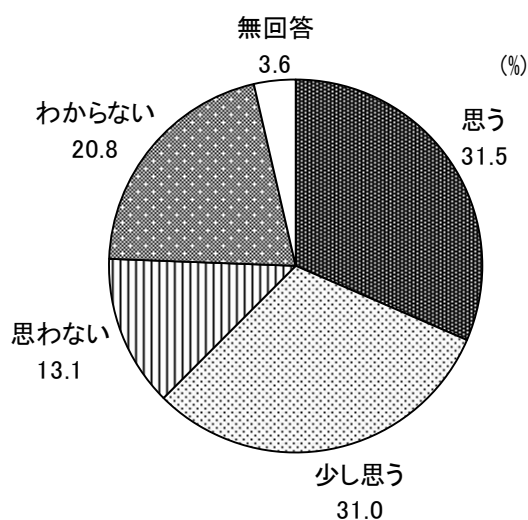


図 14-2 貢献を期待する内容 (n=1,556)

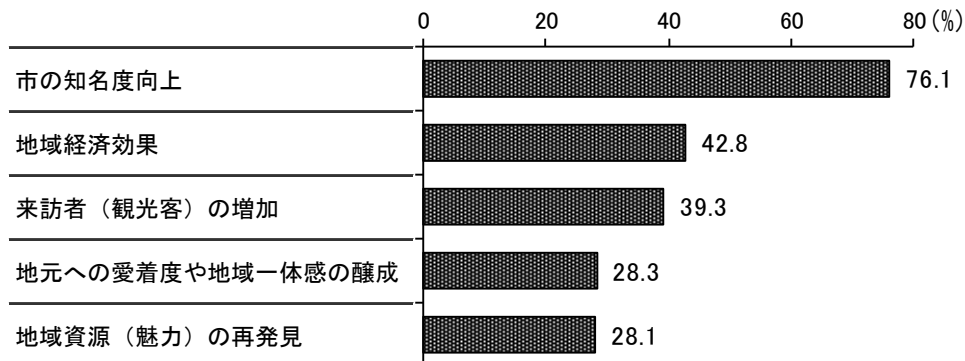
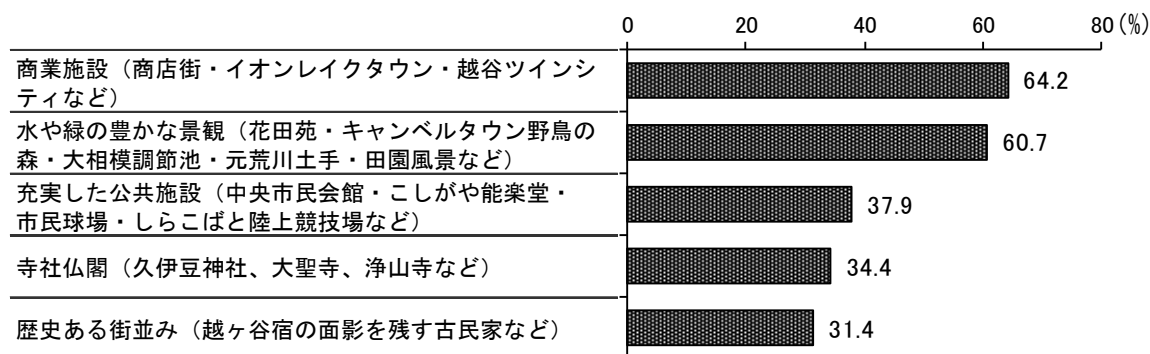


図 14-3 貢献すると思う撮影場所 (n=1,556)



15. 越谷市の商店街について

- 商店街主催イベント等の『認知度』（「利用・参加したことがある」＋「利用・参加したことはないが知っている」）は「商店街の歳末福引」が4割半ば、「商店街の中元福引」が約4割、「商店街発行のガイドブックやマップ等」「商店街のポイントカード事業」がともに3割半ば。
- イベント等の商店街利用への影響は「イベントをきっかけに商店街を利用し、今後も利用したい」が1割強。
- 商店街の満足度について『満足』（「満足」＋「やや満足」）は「接客サービスやおもてなし等」「ポイントカード等のお得なサービスの実施状況」がともに2割弱。
- 商店街に期待することは「地域の防犯や防災に対する取組み（街路灯や防犯カメラなど）」が2割弱で最も多い。

図 15-1 商店街主催イベント等の認知度 (n=2,492)

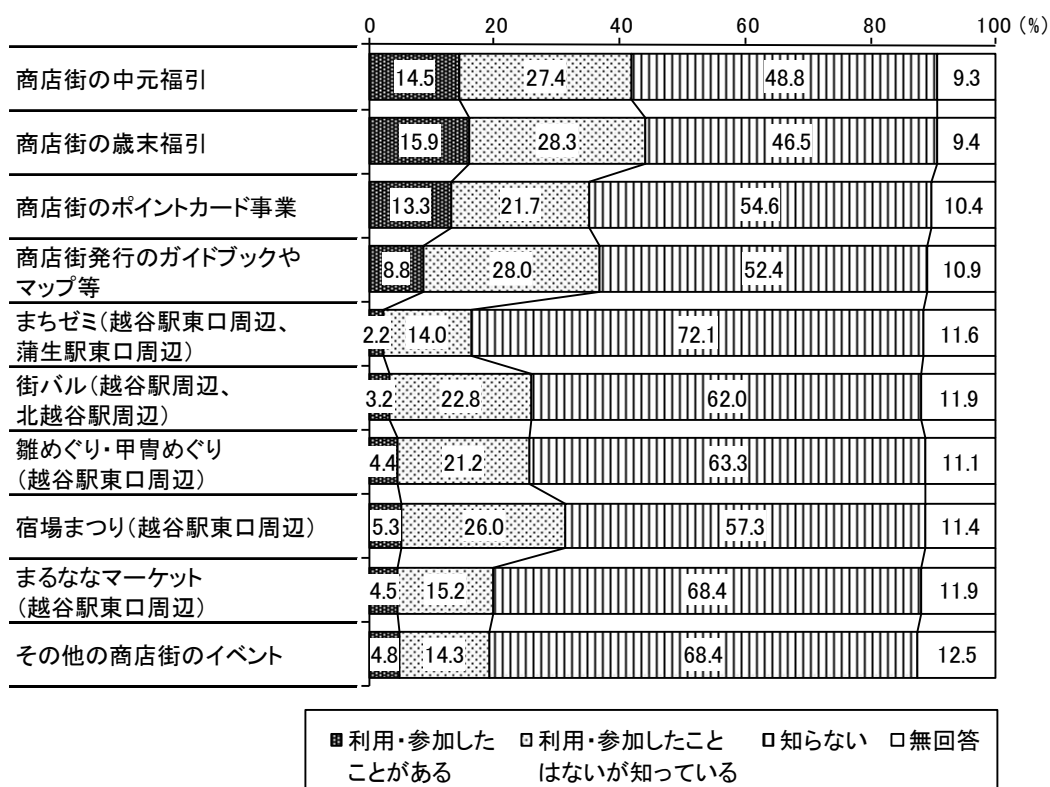


図 15-2 イベント等の商店街利用への影響 (n=2,492)

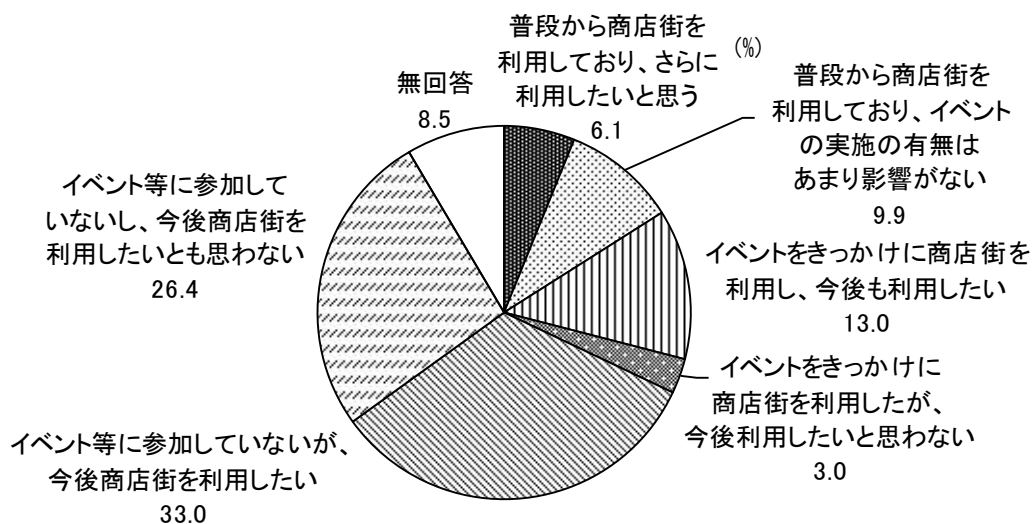


図 15-3 商店街の満足度 (n=2,492)

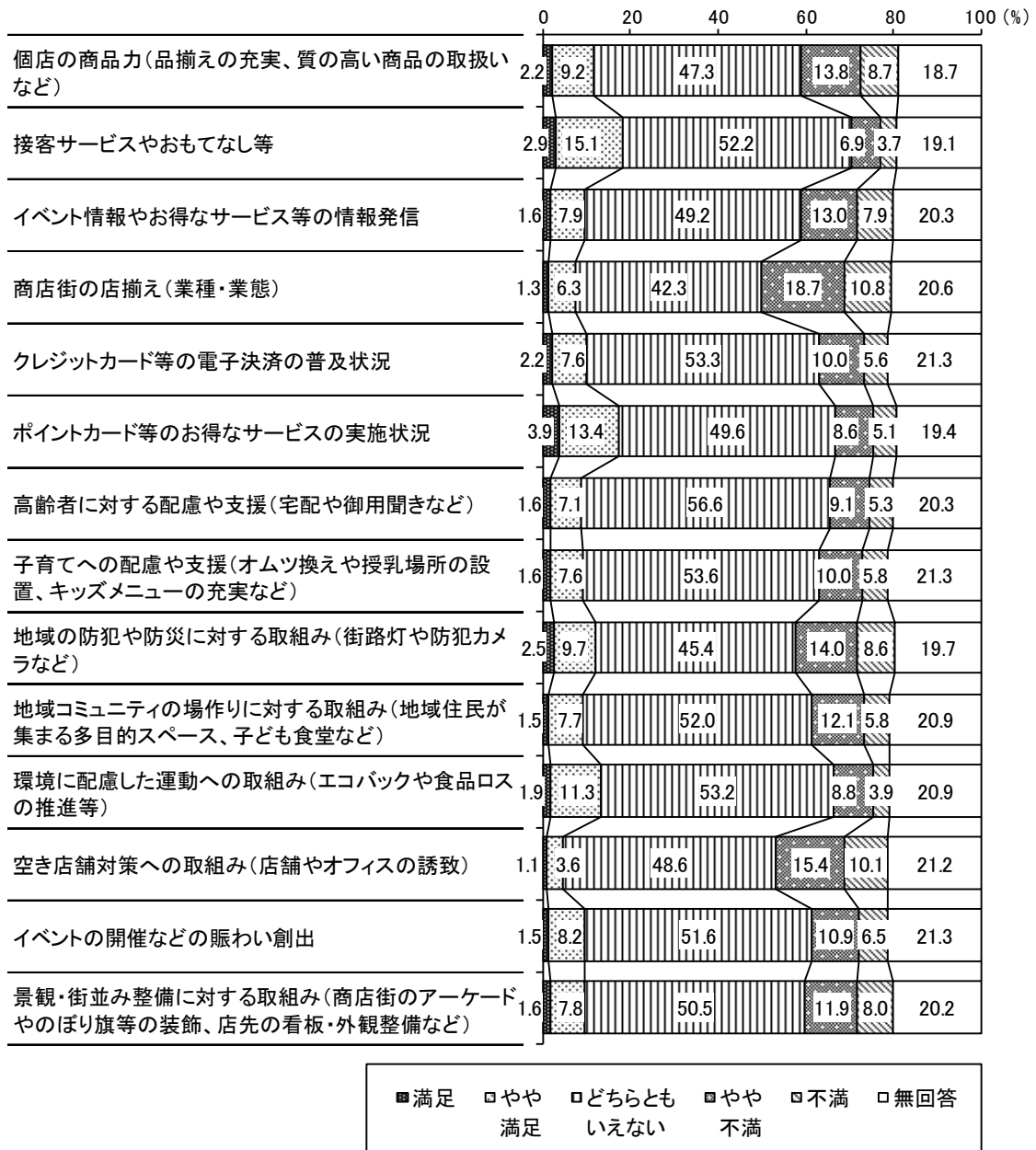
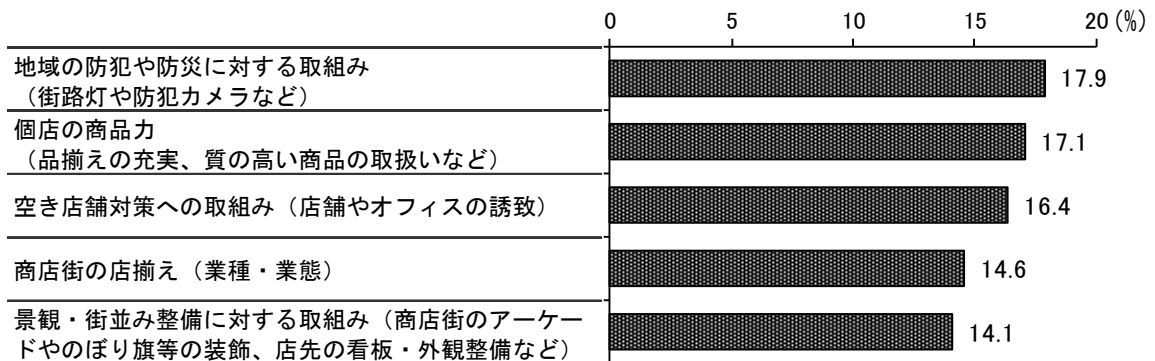


図 15-4 商店街に期待すること (上位 5 位) (n=2,492)



16. 地域福祉（地域で支え合うしくみづくり）について

- 地域で困っている人がいた場合は『支援したい』（「自ら積極的に支援したい」＋「頼まれれば支援したい」）が5割強。
- 地域で助け合うしくみに必要なものは「どこに相談すればよいか分からない時に、解決の糸口をつかめる相談窓口」が約6割で最も多い。

図 16-1 地域で困っている人がいた場合（n=2,492）

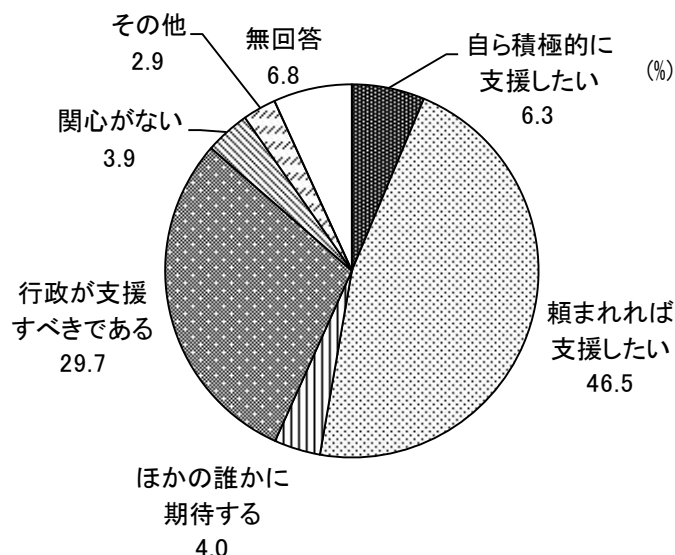
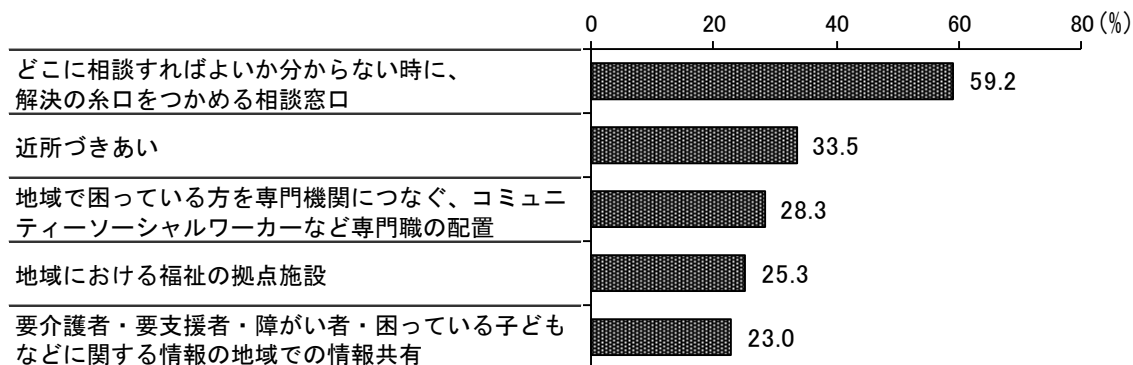


図 16-2 地域で助け合うしくみに必要なもの（上位5位）（n=2,492）



17. 老人福祉センターについて

- 老人福祉センターの認知度は『知っている』（「利用したことがある」＋「知っているが、利用したことはない」）が8割弱。
- 老人福祉センターに期待することは「高齢者に関する各種相談の充実（生活相談・健康相談）」「健康づくりの充実（健康体操・リハビリ・食生活講座）」がともに約5割。

図 17-1 老人福祉センターの認知度 (n=2,492)

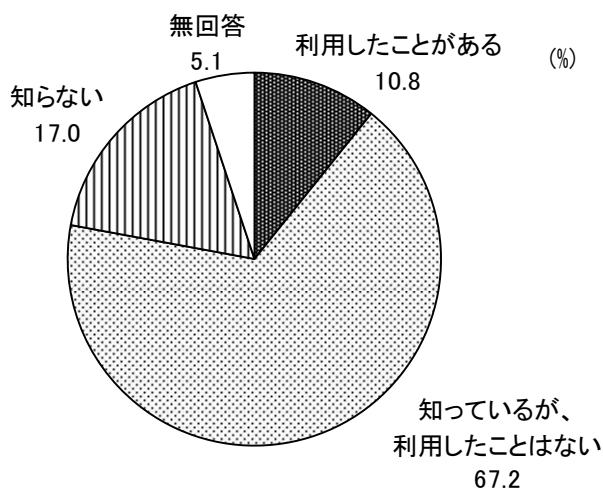
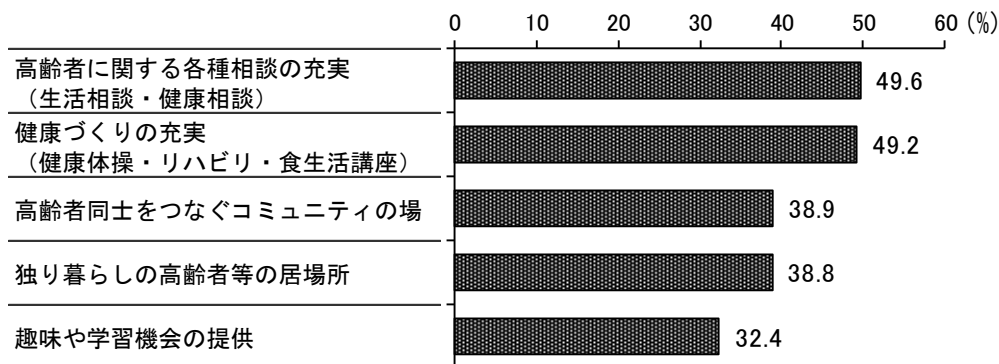


図 17-2 老人福祉センターに期待すること（上位5位）(n=2,492)



18. 広報について

- 市政情報を主に得ているものは「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が6割半ばで最も多い。
- 市政情報を得るために活用したことがあるものは「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が9割強で最も多い。
- 広報こしがやの感想は『分かりやすい』（「分かりやすい」+「おおむね分かりやすい」）が「お知らせ版」で6割半ば、「季刊版」で約6割。
- 広報こしがやで分かりにくい点は「お知らせ版」「季刊版」ともに「知りたい情報が少ない」が多い。

図 18-1 市政情報を得ているもの
(上位 5 位) (n=2, 492)

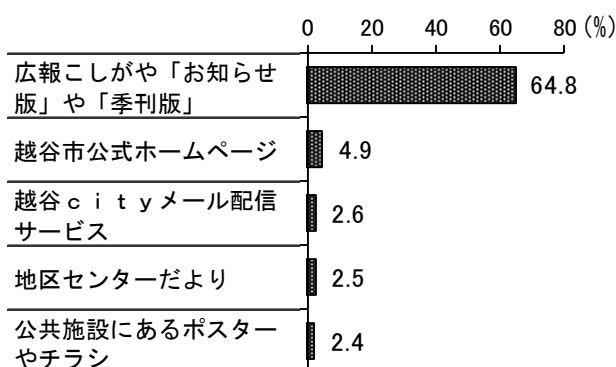


図 18-2 市政情報を得るために活用したことがあるもの
(上位 5 位) (n=2, 492)

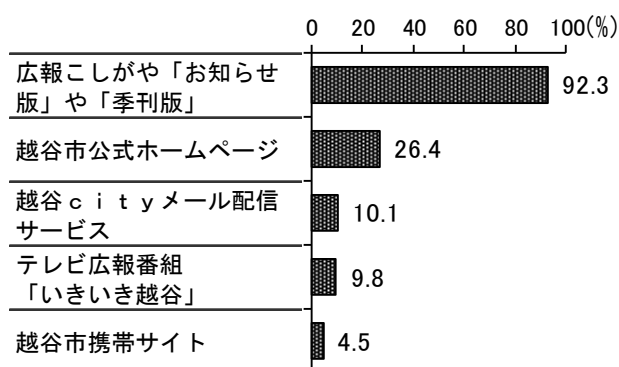


図 18-3 広報こしがや「お知らせ版」「季刊版」の感想 (n=2, 299)

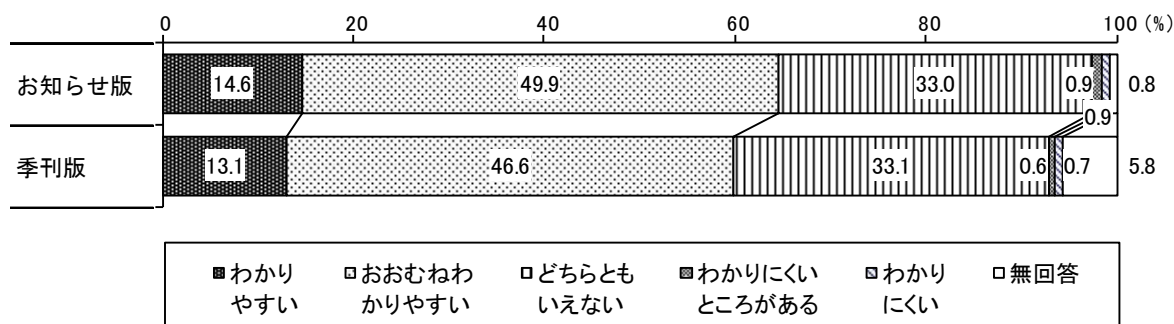


図 18-4 広報こしがや「お知らせ版」の
わかりにくい点 (意見数が 2 件以上)
(n=29)

内容	意見数
知りたい情報が少ない	6
文字が小さい、詰まっている	5
見づらい、読みづらい	4
見出しやレイアウトがわかりづらい	3
情報、内容が多すぎる	3
文章がかたい、理解しにくい	2

図 18-5 広報こしがや「季刊版」の
わかりにくい点 (意見数が 2 件以上)
(n=18)

内容	意見数
知りたい情報が少ない	3
文字が小さい、詰まっている	2
見づらい、読みづらい	2
見出しやレイアウトがわかりづらい	2
情報、内容が多すぎる	2

19. 越谷市の施策について

- 市の施策について、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」は「駅周辺の整備」が約4割で最も多い。
- 今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」は「防犯対策」が約3割で最も多い。

図 19-1 よくなってきたと感じるもの
(上位 10 位) (n=2,492)

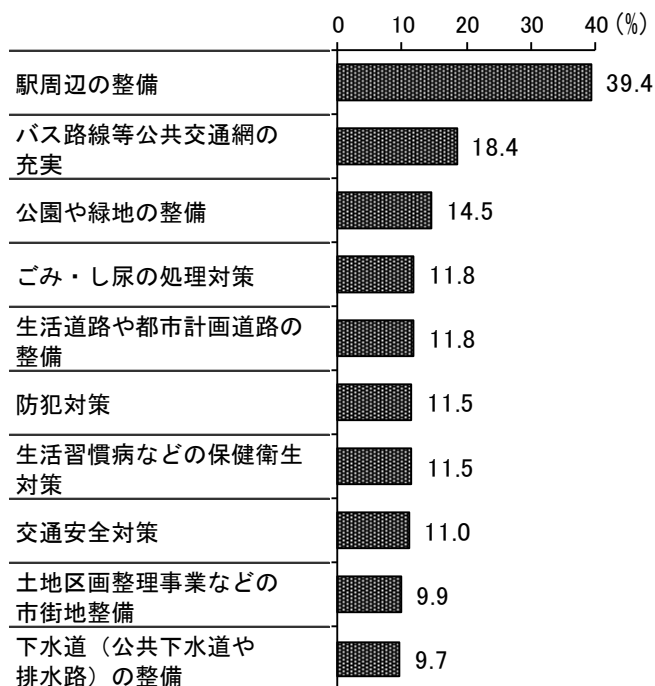
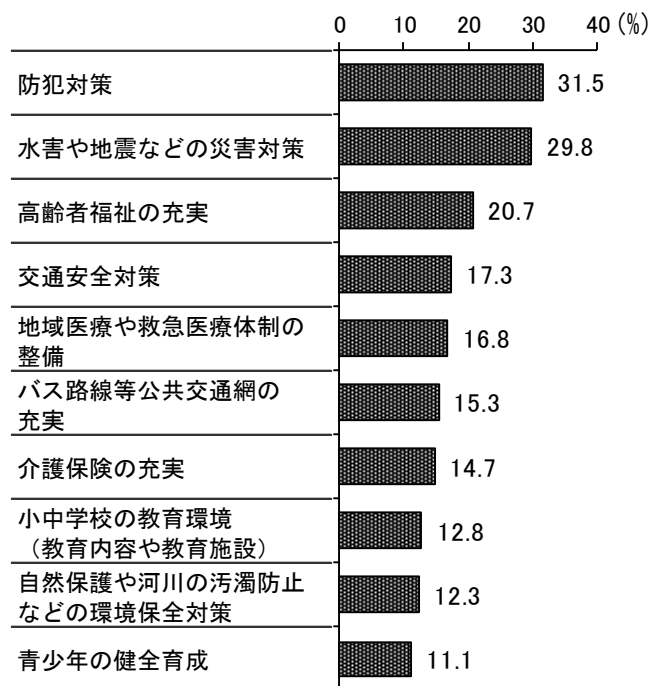


図 19-2 特に力を入れるべきだと思われるもの
(上位 10 位) (n=2,492)



市政世論調査報告書 概要版

平成29年11月

発行：越谷市 市長公室 広報広聴課

〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号

電話 048-963-9117（直通）
